

りゅうおう

議会だより

No.198
2022年2月1日
滋賀県竜王町議会

竜王新古今八景

豊作と予感させる

植付前の水田に映る夕光

- 定例会報告 P2～ 給食センターアレルギー対応へ
- 委員会報告 P4～ 道の駅かがみの里機能拡充検討
- 一般質問 P7～ 新型コロナワクチン3回目接種は

12月
定例会

12月定例会

ごあいさつ

町民の皆さまには、日
ごろから町議会に対しご
理解・ご協力を賜り厚く
お礼申し上げます。

竜王町議会では、昨年
10月に役員改選があり、
新体制となりました。二
元代表制のもと、行政を
チェックする役目と皆さ
まの声を届ける役目に邁
進して参りますので、本
年も本町議会へ貴重なご
意見等をぜひお寄せくだ
さい。最後になりますが、
令和4年も町民の皆さま
にとりまして、明るく豊
かな一年となることをご
祈念申し上げご挨拶とい
たします。



議長 貴多 正幸

12月定例会を12月2日から21日ま
での20日間の会期で開催しました。

条例改正1議案、補正予算6議案を原
案のとおり可決しました。

令和3年度一般会計

今回の補正額 **3億4796万円**
予算総額 **67億8038万円**



**竜王町総合庁舎別館
改修設計業務委託料**

1287万円



**ふるさと納税
推進のための経費**

2622万円

補正予算(一般会計)

主要内容(事業)



**給食センター
アレルギー対応工事費等**

2482万円



**駐車場整備工事
(道の駅竜王かがみの里)**

391万円

主な質疑応答

竜王町総合庁舎別館改修

問 食堂は。別館改修費は。

答 食堂はなくし、執務室にする。現時点では、概算で直接工事費2億円程度を見込んでいる。

問 耐震診断は。

答 以前の耐震診断で安全性は担保されているが、雑壁をとるため改めて耐震診断が必要となる。必要であれば耐震補強を実施する。

給食センターアレルギー対応調理室設置工事

問 県からの補助金は。

答 施設の安全を担保するための整備にかかる補助金しかない。

防災行政無線戸別受信機

問 2台目有償化の経緯は。

答 一世帯1台を原則としている。新たな情報ツールとして、しるみる竜王を含めた選択肢がある中で、それぞれを活用してもらいたい考えから有償化した。



防災行政無線戸別受信機

農業就農支援金

問 どのような支援を行うのか。

答 竜王町出身の方がUターンして就農されることに対して支援を行う。年150万円を交付する予定である。

総合運動公園社会資本総合整備計画策定業務委託料

問 委託料の増額は、建物とウォールのコストが上がったことによるものか。

答 建屋、ウォール、レストハウスでそれぞれ2割増の見込み。それにより総事業費が増えるので、現計画を見直すための委託料である。

11月臨時会

11月29日に臨時会を開催し、補正予算1議案が上程され、慎重審査の結果、原案のとおり可決しました。

コロナ関連対策費

1億5982万円

子育て世帯への臨時特別給付金事業

9950万円

新型コロナウイルスワクチン接種事業

5863万円



総務産業建設常任委員会



竜王バイオマスプロジェクト構想について

ダイハツ工業は、自動車の製造工程の使用エネルギーの約半数が熱利用であり、CO₂ゼロの熱源がベストであることからバイオガスの熱源活用を検討されている。

ダイハツ工業

バイオ源として牛糞を活用しバイオガスを発生させ、地域に貢献できる活動を目指す。

竜王町

3月には竜王町バイオマス産業都市構想を策定する。



道の駅竜王かがみの里機能拡充検討について

ア 道の駅竜王かがみの里機能拡充に向けての検討

検討委員会を立ち上げ町内から7人の委員を委嘱し、3回の検討会議を実施した。

北部エリア全体を見渡した時の「道の駅」の役割などを広く検討している。

今後、検討会議にてコンセプト案、ゾーニング案を整理し、令和4年度中に長期スケジュールを検討する。

イ 町道山面鏡西線（竜王かがみの里バイパス）検討

目的①竜王かがみの里への南側からのアクセス

②鏡口交差点（国道・町道）の渋滞対策

③ワコール跡地等の利活用のための接道

主な質疑応答

問 竜王町都市計画マスタープランの見直しとの整合性も整理し、まちづくり計画を明確にしてほしい。

答 2年かけて竜王町国土利用計画と竜王町都市計画マスタープランの見直しを行い、道路計画、土地利用について検討し、明確にしていく。



竜王かがみの里駐車場整備状況

町内工事現場視察について

次の6か所の現場について視察を行った。

①道の駅竜王かがみの里大型車駐車場整備工事

②雨堤池廃止工事

③祖父川河川改良工事

④新川河川環境保全工事

⑤竜王大橋長寿命化修繕工事その4

⑥産地形成促進施設改修工事



祖父川河川改良工事視察

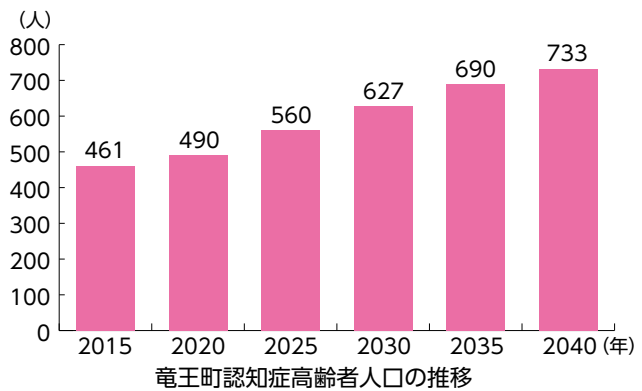
教育民生常任委員会



竜王町における認知症の現状・予防とケアについて

◇竜王町における認知症の現状と推移

竜王町の認知症高齢者人口は2030年頃まで高齢者数が増加し、ピークとなるが、高齢者人口全体の高齢化が進んでいくことから要介護認定者、認知症高齢者数は2040年も増加すると推定される。



◇認知症にかかる社会的課題

- ①生活自立度の低下
- ②家族介護の負担増
- ③他者による財産管理等の困難さ

認知症高齢者の増加の影響以外にも、一人暮らしの高齢者の増加、介護職員の確保の困難さが社会的課題を複雑化させる。

◇認知症高齢者が安心して暮らせるために

超高齢社会へは自助・共助・公助を組み合わせた地域の総合力による対応が必要となる。

主な質疑応答

問 介護職員の確保の困難さが課題とされるが、今後、町として職員の確保をどのように考えているか。

答 客観的に数字で見ると、今後も高齢者が増える。近隣市町においても増える傾向にあり、人材の取り合いが起こるのではと危惧している。介護事業所とともに魅力発信も検討し、事業所職員の処遇改善についても、県と連携しながら国へ制度改正を求める等の努力をしていく。

地域活性化特別委員会



中心核整備（交流・文教ゾーン）の進捗について

◇地元との協議状況と整備に向けた進捗状況について説明を受けた。

- ・地域要望に対する具体的な方策の検討
- ・埋蔵文化財試掘調査実施に向けた調整
- ・活用できる補助金等の調査、協議
- ・収用事業認定申請に向けた調整
- ・新設道路等整備に向けた関係機関協議
(県・警察・町合同会議)

◇埋蔵文化財試掘調査の実施状況について説明を受けた。



埋蔵文化財試掘調査

町政 ここを問う!

12月定例会では11議員が
20問の一般質問を行いました。

ページ	質問者	質問事項
7	鎌田勝治議員	- GIGAスクールの今後の取組について - 地域の活性化について
8	磯部俊男議員	- 新型コロナワクチン3回目接種の対応について - 今後の河川愛護事業に係る対応について
9	尾川幸左衛門議員	- 水道管の点検について - 今後の町内の開発について
10	森島芳男議員	- 地域における女性の活躍推進は - 町道整備について
11	小西久次議員	- 旧国保診療所（医科）の取り壊しと跡地利用は - 土地改良施設の維持管理の検討状況は
12	中村匡希議員	- オンラインで姉妹都市交流を - 地域おこし協力隊の取組は※ - 関係人口についての考え方と取組は
13	大前セツ子議員	子育てしやすい環境を
	福田優三議員	通学バスとしてチョイソコリゅうおうや路線バスの活用は
14	澤田満夫議員	所有者不明土地の対応について
	岡山富男議員	令和4年度の予算編成について
15	橘せつ子議員	- 竜王町コンパクトシティ化構想の中心核整備について - 国民健康保険税の引き下げと就学前の子どもの均等割廃止について - 路線バス岡屋線の路線延伸について※

※紙面の都合上、掲載しておりません。

次回の一般質問は
令和4年3月22日(火)予定

議員の質問順は町ホームページでご確認ください。

問 議会事務局 電話 0748-58-3713

各議員のQRコードを
スマートフォンで読み
取ると音声配信が聴け
るよ



近江うし丸

問 GIGAスクールの今後の取組について

答 GIGAスクール構想を契機に
竜王スタイルの学びの確立を目指す



鎌田 勝治 議員



ICT職員研修会の様子

問 次の点について町の見解を伺う。

- ① ネット環境の整備の進捗状況は。
- ② ICT支援員の活動状況と増員に対する具体的な取組は。
- ③ 端末の有効利用による個別最適化学習への具体的な取組状況は。
- ④ オンライン授業に向けた体制整備にあたり、効果的な端末機器の活用についての教員研修やICT教育推進リーダーの育成等の個別計画を総括した全体的な計画とそのスケジュールは。

答

- ① 本定例会においてネット回線増設の補正予算を上程し令和4年1月工事完了予定。
- ② 週1回程度各校に出向いて支援を実施。増員については、学校現場の声を踏まえて検討する。
- ③ 様々なソフトを利用して生徒個々の能力に応じた個別学習により、端末を有効活用している。
- ④ 「教職員のスキルアップ」「ICT推進リーダーの養成」「授業における有効活用」の3つを柱に小中学校と連携しながら計画的にオンライン授業の実施に向け取組を進めてきた。今後もGIGAスクール構想を変化のチャンスと捉え、新たな竜王スタイルの学びの確立を目指すべく、端末が授業の中で当たり前に使える学習ツールとなるように着実に進めていきたい。

問 次の点について町の見解を伺う。

- ① 各地域で、仕込みとして取組んできたことは。
- ② 新たな仕組みづくりとは、現状の区長制度という枠組を超えた組織であると思うが、その新たな仕組みづくりを考える上で具体的に取組まれてきたことは。
- ③ コンパクトシティ化構想に盛り込まれているコミュニティセンターを有効に活用するためには、交流・文教ゾーンの完成前に組織化する必要があると思うがその具体的な計画は。

答 自治会を補完する新たな組織の立ち上げを目指す

問 地域の活性化について

答

- ① 従来から実施してきた地域支えあい仕組みづくりモデル事業の更なる広がりを目指す。
- ② 地域自治組織のあり方検討プロジェクトを立ち上げ検討している。
- ③ 来年度以降、順次、町民や関係者を含めた議論や検討を進める。

竜王町コンパクトシティ化構想では令和9年度にコミセンの開館を目標とし、それまでに自治会を補完する新たな組織の立ち上げを目指す。



地域河川愛護活動の様子



磯部 俊男 議員



問 新型コロナワクチン 3回目接種の対応について

答 竜王町公民館で2月14日から

問 コロナワクチン3
回目の接種率の向上に
ついて伺う。

答 12月15日現在の接種
状況は1回目約88・0%。
二回目約87・5%。5月
から接種された高齢者
は順次接種券を発送し
竜王町公民館で2月14日
から、町内医療機関は2
月28日から開始を予定
している。
都合がつかない場合は
予定日の前後で電話、イ
ンターネットで変更が可
能。また、3回目の追加
接種の実施に伴いワクチ
ン接種の時期が令和4年
9月30日まで延長され
た。
新型コロナワクチンは副
反応がインフルエンザ等
に比較しても出やすく、
3回目の接種を躊躇され
る方があるかと思われる
が、高い接種率での集団
免疫の維持と、大切なご
家族・ご友人の命を守るた
めにも接種の検討をお願い
したい。



ワクチン接種状況

問 今後の河川愛護事業に 係る対応について

答 ハンドガイド、重機等
の機械作業での取組を促
していく

問 ①補助金交付要綱に基
づく対象場所、面積
は特定されているが、
作業難易度は把握し
ているのか。
②今後の河川愛護事業
の推進をどのように
考えているのか。

答 ①作業難易度は作業にお
ける地形的な課題と理
解している。河川の大小、
法面の長さ、勾配等により
作業環境は地域により様々
であり、一つの基準では図
りきれない異なる困難さが
あると認識している。
②従来どおりでの実施が
困難になりつつあること
から、作業負担の軽減



環境整備活動の様子

減に向け県へ働きかけ
た。結果、令和元年度
には機械化を導入しやす
い制度へと見直しが行
われ、この取組が増
加しつつある。今後は

ハンドガイド、重機等
の機械作業での取組を
促していくとともに、
地域個々の相談に応じ
ながらフォローに努め
たい。

問 水道管の点検について

答 水管橋、橋梁添架管を令和4年度に点検調査を実施するべく検討していく



尾川 幸左衛門 議員



山中水管橋



橋梁添架管

問 本町における水道管のうち、山中地区の送配水管が竣工後46年が経過している。山中送配水管には、祖父川、野神川に径400ミリメートルの三角トラス橋が架かっている。現地を確認すると、山中橋の左岸橋台で企業庁送水管が漏水している。腐食が原因であると思われる、本町の配水管も同条件であり、いつ漏水するか不安である。今後、企業庁の補修に合わせ、町配水管の点検について伺う。

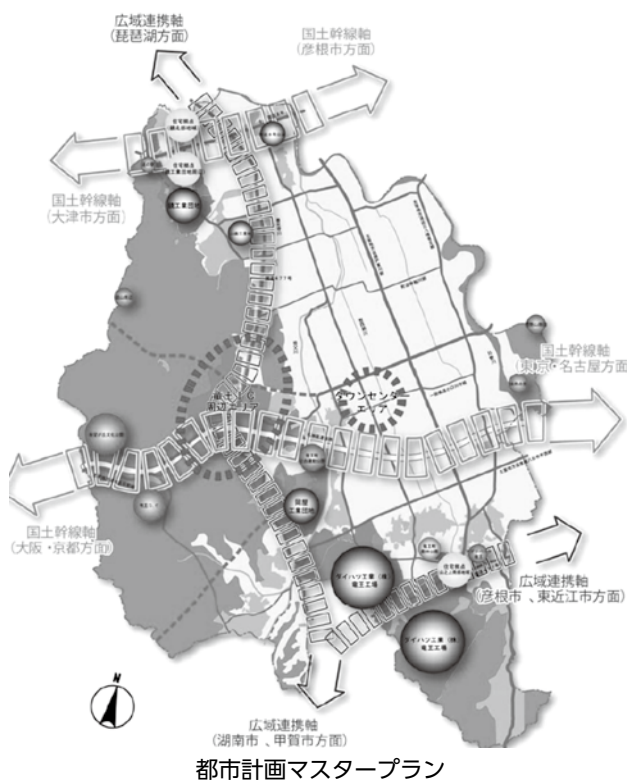
答 企業庁の送水管修繕時に掘削などにおいて町の配水管が目視できるところは目視点検を実施するとともに、今後の対応策を検討する材料として企業庁の送水管の老朽状況を確認し、漏水要因を情報共有していく。また、安心して安全な水を供給するため、当該水管橋のみならず、町内すべての橋梁添架管について令和4年度に点検調査を実施するべく検討している。

問 今後の町内の開発について

答 工業団地等候補地を選定し令和4年度に検討調査を予定している

問 竜王インターチェンジ周辺の山林や農業振興地域内農用地域外農地などいくつかの候補が考えられるが、現在の進捗状況は。またどのような場所を考えているのかを伺う。

答 第六次竜王町総合計画を具現化するためにも、画に基づく都市計画マスタープランにあるとおり工業用地等候補地を選定し、各候補地における事業化のための検討調査が必要であることから次年度において調査を予定している。





森島 芳男 議員



問 地域における女性の活躍推進は

答 自治会に提案していくなどの支援をする



問 「電王ベストパートナープラン」には「地域における女性の活躍推進」が重点目標に掲げられている。現在、自治会の重要な役割に女性の参画が進んでいない。このことから、本町の現状と課題について伺う。

答 プランの周知を図るため、概要版の全戸配布の他、セミナー等の場において、地域における女性参画に対する意識を変

革するための啓発活動を進めてきた。しかし、現状は女性の参画が少なく、課題として、女性参画の必要性が十分に伝わっていないことがある。今年度から、新たな取組として電王町未来へつなぐまちづくり交付金事業に電王ベストパートナープラン推進事業を加えた。どのような仕組みづくりが効果的であるかを自治会へ提案していくなどの支援を継続する。

問 町道整備について

答 統一的な整備は困難

問 現在の町道は、山之上綾戸線など、幅員が狭く車同士がすれ違うにも困難な場所が多くある。緊急自動車が行き止まりの場合や災害発生時の避難にも支障が出ると考えるが、今後の計画的な道路整備について町の見解を伺う。

答 町道については、ほとんどが昔からの里道・農道・林道等を後から町道として認定したもので、幅員が狭く、生活道路として使われているものが多数ある。現状としては、舗装や構造物の老朽化対策としての維持管理に主眼をおいており、新たに拡幅するとなると、用地も必要となり、現実的には困難であると考えている。町としては、統一的な整備は困難であるが、



町道山之上綾戸線

具体的な支障がある場合は、路線や交通の現状を確認し、個別に対応方法を考えていく。

問 旧国保診療所（医科）の 取り壊しと跡地利用は

答 令和4年度に解体し土地の有効活用を図る



小西 久次 議員



取り壊される旧国保診療所

問 念願であったあえんぼクリニックが10月1日から開所された。利用者から入口看板が小さい・入口が狭い等の声を聞くが利用状況に応じて対応検討が必要である。南側の旧施設の取り壊し等の予定時期はいつか。敷地は宅地であり、取り壊し後の利活用について伺う。

答 開所後利用者も徐々に増えてきている。今後、より多くの方に利用

していただくため、利用者からの意見に耳を傾け必要に応じ対応を検討する。施設は老朽化しており、解体と合わせて土地利用の観点から隣接排水路の付け替えを令和4年度には実施できるように取り組む。跡地利用については、現時点では具体的な検討には至っていない。今後、利用者増加に伴う駐車場用地としての活用や、町の活性化を踏まえ、土地の有効活用に向けて、民間への貸付けや売却を含め研究する。

問 土地改良施設の維持管理の 検討状況は

答 農村保全委員連絡協議会で検討し地元
に適切な助言支援を行う

問 全町ほ場整備が終了し20年から43年が経過した。令和元年の質問以降の土地改良施設の対応状況と調査研究状況は。また、山之上畑地灌漑区域、パイプライン等においても老朽化が進んでいる。地元では「農地保全を考える会」を立ち上げられた。町としての「農業振興ビジョン策定・土地改良施設の機能保全方針」の現状と今後の方向付けと考え方について伺う。

答 令和元年度に竜王南部・北部地区で機能診断と機能保全計画策定業務を実施した。令和2年度から、農業施設専門員を



パイプライン網図

配置し、機能診断と機能保全結果と計画を各集落の保全委員に国・県の補助事業も含め説明した。各集落で検討し、令和4年度から地元負担のない、農村まるごと保全向上機能を活用した事業に取り組む集落もある。また、近隣土地改良区の調査を行い、「農業あり方検討会」で課題や論点整理をした。畑地灌漑整備等の生産基盤や環境の総合整備については国の畑地帯総合整備事業等の活用できる可能性があるので地元で計画・検討される場合、適切な助言や支援を行う。



中村 匡希 議員



問 オンラインで姉妹都市交流を

答 今後、様々な方法で交流を深めていきたい



交流用のビデオレターを作成する
竜王中学校の生徒

問 コロナ禍でスー・セー・マリー市との姉妹都市交流は停滞している。使節団を派遣し交流を実現するにはこの先、数年の期間を要すると思われる。一方、今年度は学校施設でタブレット端末が配備されるなど、ICT環境は整備されている。これまでの取組と今後のオンライン交流の必要性について伺う。

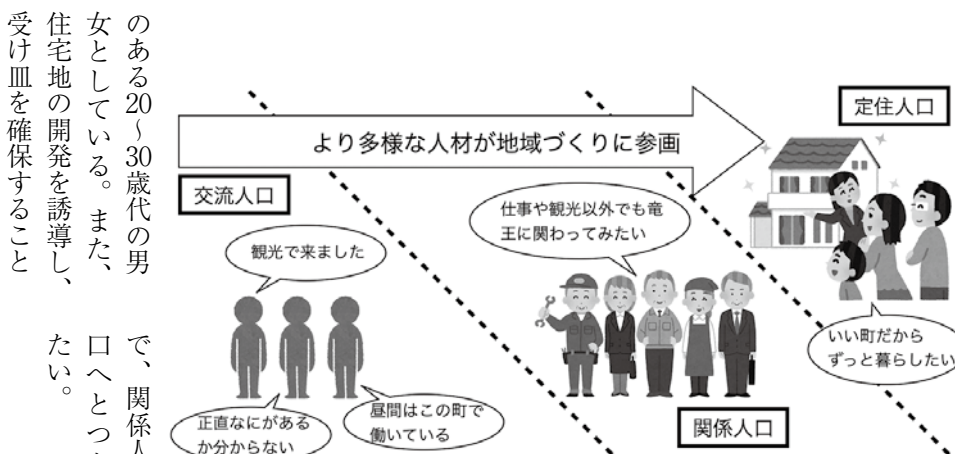
答 今年度は竜王中学校の2年生が日本や竜王町の文化を英語で紹介するビデオレターをまとめた。時差が14時間あるため、互いの授業時間中にオンライン交流を行うのは難しい。
一例として昨年は、竜王西小学校の6年生が香港の日本人学校と英語の時間にオンライン交流した事例もある。今後、様々な方法で交流を深めていきたい。

問 関係人口についての考え方と取組は

答 本町にゆかりのある人を定住人口へつなげていきたい

問 関係人口は、地域に暮らす「定住人口」や観光等で来訪する「交流人口」でもなく、地域と多様に関わる存在とされる。そこで次の点を伺う。
①本町の関係人口をどう想定されるか。
②今後想定される取組は。

答
①本町においては、138・8%という高い値を示す昼夜間人口比率を想定し、まずは町に関係のある方々より関係性を高めていきたい。
②今年度から取り組んでいるシティプロモーションで、メイインターゲットを本町にゆかり



竜王町の関係人口のイメージ図

のある20～30歳の男女として。また、住宅地の開発を誘導し、受け皿を確保すること
で、関係人口を定住人口へとつなげていきたい。



大前 セツ子 議員



問 子育てしやすい環境を

答 今後は認定こども園・放課後児童クラブの充実を進めていく



支援を受けたご家族

問 本町では、町民と地域・事業者・行政が一体となって子育て支援していくまちづくりが進められている。

答 第六次総合計画では2040年以降は1000人以上の人口を維持することを長期的な目標としている。

今年度から、ダイハツ竜の子ファミリー車提供制度が導入され、竜王町らしい事業にも取り組まれている中、子どもがのびのびと健やかに育つまちづくりを進めるための今後の施策は。

答 子どもがのびのびと健やかに育つまちづくりで赤ちゃんサロンやこどもひろばを実施。

また中学生までの医療費無償化や高校生大学生等の通学定期支援・若者定住のための住まいの補助等経済的負担を軽減できるような実施している。

今後は、就学前の子どもの教育・保育の体制の充実と児童の放課後の環境づくりとして認定こども園の実施・放課後児童クラブの充実を進めていく。

問 通学バスとしてチョイソコリゅうおうや路線バスの活用は

答 通学に活用できるか等研究していく



福田 優三 議員



チョイソコリゅうおうの車輛

問 小学校の通学において、遠いところでは45分以上かけて徒歩通学をしている地区もあり、このような地区の保護者等からバス通学を希望されている。そこで、中心核整備に伴い移転新築する竜王小学校の通学環境を検討する際、チョイソコリゅうおうや路線バスを活用し、通学バスに係る業務委託料の負担を減らす等の検討はしているか。

答 チョイソコリゅうおうの活用については、通学バスとしての運行形態の違いから現状では児童の通学には使用できない。しかし、通常運行以外の時間帯でタクシーのような利用の仕方により通学に活用できないか等研究していく。

また、路線バスの活用については既存の路線が通学手段として利用できる地区については定期代を補助することにより活用できないか等についても研究していく。



澤田 満夫 議員

問 所有者不明土地の対応について

答 国道477号歩道未整備対応促進と各種制度の見直しの動向を注視する



国道477号の歩道未整備区間

答 歩道整備は、滋賀県の案件であるが、今も地権者不明の状態で新たな進捗は図れていない。町

問 令和元年第4回定例会において滋賀県工業団地に接する国道477号の歩道の未整備区間に係る質問があった。その後の進捗と、町内の有効的土地利用を図るなかで、散在する所有者不明土地に対し、「所有者不明土地の利用の円滑化等に関する特別措置法」を基に対応できないのか伺う。

現在、国において各種制度が見直されており動向を注視していく。

としても、現地に町有地もあり所有者不明土地問題の法整備が進められている中で、より踏み込んで県と協議をする。

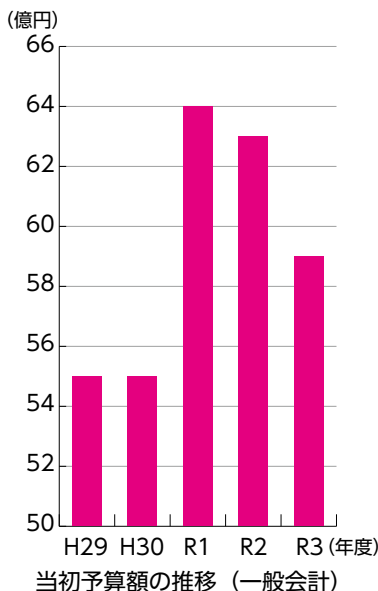
所有者不明土地法は、所有者不明土地の利用の円滑化等を目的としたものである。現時点では県内では事例はないが、特に地域福利増進事業に関して、目的と条件が揃えば有効的な土地利用ができる可能性があるのではと考える。

問 令和4年度の予算編成について

答 健全な財政運営に取り組む



岡山 富男 議員



答 ①令和4年度の個人町民税は例年並みとなる6億円程度の収入が見込まれる。法人町民税は町内大手自動車メー

④優先して取り組む事業に、「子ども子育て支援の充実に関する事業」「キラリと光る竜王ならではの教育充実に関する事業」を明記している。

問 令和4年度一般会計当初予算も大変厳しい財政状況と推察されるが次の点を伺う。

①町税(個人町民税・法人町民税・固定資産税)の収入見込みは、国・県費等の財源確保はどの程度見込んでいるのか。

②財政調整基金からの繰入れはどの程度見込んでいるのか。

③子育て支援や教育予算について、どのように考えているのか。

カーからの中間納付の状況等を踏まえると昨年度と同程度程度の収入が見込める。固定資産税は、令和3年度を上回る収入が見込めると考えている。

②各事業に対する国・県費の活用の可能性については積極的に情報収集し、財源の確保に努める。

③不足する所要の財源については財政調整基金を取り崩す必要があると考える。

問 竜王町コンパクトシティ化構想の中心核整備について

答 基本計画、基本設計を進め精査して示す



橘 せつ子 議員

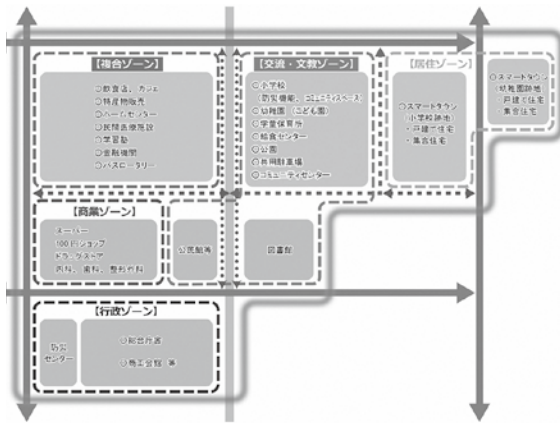


問 交流・文教ゾーンの整備について、次のことを伺う。

① 今後、説明と周知をどうしていくのか。

② 交流・文教ゾーンの整備費用は約55億円と見込まれているが、財政計画は示されないままである。早急に示すべきと思うが、中心核整備全体についてもその概要と予算を示すべきでは。

答 ① 説明と周知は、11月から3月まで町広報やH



コンパクトシティ化構想の全体図

P、しるみる竜王で知らせている。2月にまちづくり懇談会の開催を準備しており、コロナ禍で参加は事前申込制を予定している。

② 整備費用については、今後施設ごとの基本計画、基本設計を進め、財政計画に反映させていく。

③ 「居住ゾーン」「複合ゾーン」は民間活力の活用を基本に考えている。現時点では具体的な検討に至っていないので、概要と総予算が示せる段階ではない。

問 国民健康保険税の引き下げと就学前の子どもの均等割廃止について

答 保険税の急激な上昇を防ぐため財政調整基金の繰入れを考えている

問 コロナ禍で国民健康保険税の納付は、減免対象にならない世帯においても日々の生活を圧迫している状況にあり、次のことを伺う。

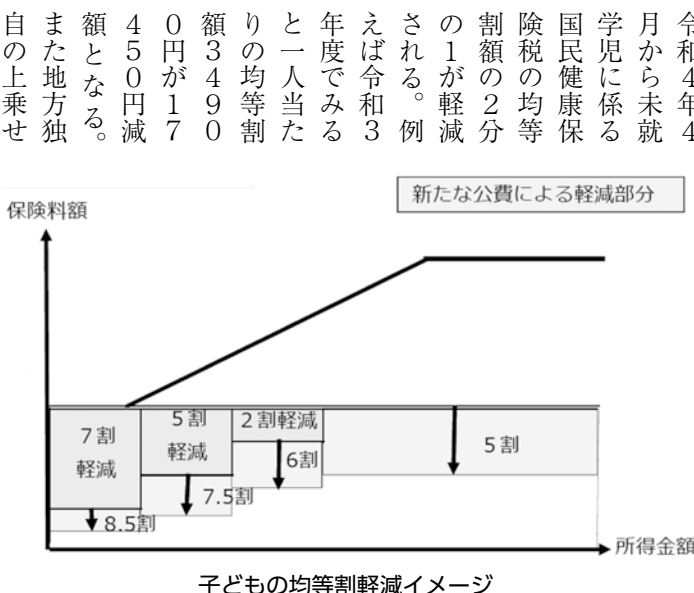
① 令和4年度の国民健康保険税は、財政調整基金等の活用により引き下げは可能か。

② 令和4年度から就学前の子どもの均等割の半分を、国県町が負担することで減額となるが、残りの半分も町で負担し均等割を廃止できないか。

答 ① 令和4年度の仮算定の納付金額は増加しており、令和3年度の税率より上昇する見込みで、

それを防ぐため令和4年度は財政調整基金の繰入れを考えている。

② 子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、令和4年4月から未就学児に係る国民健康保険税の均等割額の2分の1が軽減される。例えば令和3年度でみると一人当たりの均等割額3490円が17450円減額となる。また地方独自のの上乗せ



軽減は認められないと国の見解により軽減措置の拡充は難しい。

竜王八景

国宝 苗村神社



表紙

今回の議会だよりから、令和2年5月に竜王の文化を検討する懇話会から町へ報告された「竜王新古今八景」を紹介したいと思います。これは、八景とはいうものの景観のみに焦点を絞るのではなく、町内各地に根付く、風習・人々の生業・現在まで受け継がれてきた地域の価値観・竜王を形づくる新しい顔を意識した心象風景を活字にしたものです。写真は、それに因んだものと理解していただければと思います。

今回の議会だよりは、「肥沃な大地に整然と区画された水田。豊作を予感させる植付前の水田に映る夕光」です。

また、裏表紙は、次回以降も自然と歴史の宝庫である本町より選び抜かれた八つの景勝地「竜王八景」を紹介していきます。ご期待ください。

編集後記

今回の議会だより発行から議会広報特別委員会が新メンバーでスタート致しました。

昨年の終盤に、広報委員の研修を受け、情報としての広報文の書き方や写真での伝え方など、分かりやすい紙面作りの勉強を致しました。

過去に、町村議会広報誌全国コンクールで奨励賞などを受賞した広報誌「りゅうおう 議会だより」の伝統を引き継ぎ、親しまれる紙面づくりをめざして、編集していきたいと考えております。

本年も町民皆様にとって良き年でありますようご祈念申し上げます。

議会広報特別委員会

委員長	鎌田 勝治
副委員長	森島 芳男
委員	澤田 満夫
委員	尾川幸左衛門
委員	磯部 俊男
委員	貴多 正幸



環境に配慮し、再生紙及び植物油インキを使用しています